

出雲市全体 業種別景況（令和4年10月～令和4年12月期）

《全業種》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年7月～9月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				前年同期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				今期(令和4年10月～12月期)と比べた 来期(令和5年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上（完成工事・出荷）額	43.4	33.3	23.3	20.1	32.9	32.3	34.8	△ 1.9	23.6	36.9	39.5	△ 15.9
2 採算（経常利益）	30.8	42.8	26.4	4.4	27.4	40.1	32.5	△ 5.1	16.6	45.9	37.6	△ 21.0
3 資金繰り	12.2	75.6	12.2	0.0	10.3	72.3	17.4	△ 7.1	6.5	70.6	22.9	△ 16.3
4 従業員（含 臨時・パート）	6.2	77.4	16.4	△ 10.3	11.7	73.1	15.2	△ 3.4	9.0	79.9	11.1	△ 2.1
5 商品（製品）在庫	15.1	71.9	12.9	2.2	15.8	70.5	13.7	2.2	7.2	75.4	17.4	△ 10.1
6 業況（自社）	21.0	58.0	21.0	0.0	23.9	48.4	27.7	△ 3.9	10.9	57.7	31.4	△ 20.5

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	37.7	3.0	15.2	33.3	13.6	13.6	21.2	0.0	62.3
2 来 期	39.8	4.3	11.4	24.3	25.7	10.0	21.4	2.9	60.2

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	33.3	9.2	6.4	9 金利負担の増加	0.0	0.7	4.8
2 新規参入業者の増加	1.3	0.0	4.8	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	3.9	12.1	4.8	11 事業資金の借入難	0.7	1.4	0.0
4 材料（原材料）等の入手難	3.3	8.5	4.8	12 従業員の確保難	15.0	7.1	14.4
5 材料（原材料）等仕入価格の上昇	28.8	20.6	13.6	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	1.3	10.6	17.6
6 人件費の増加	3.3	11.3	10.4	14 大企業（大型店）進出による競争の激化	0.7	4.3	4.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	5.9	12.8	9.6	15 その他	1.3	0.7	2.4
8 商品（製品）在庫の過剰	1.3	0.7	2.4				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

## 《建設業》

### 1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年7月～9月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				前年同期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				今期(令和4年10月～12月期)と比べた 来期(令和5年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	34.8	39.1	26.1	8.7	26.1	43.5	30.4	△ 4.3	21.7	43.5	34.8	△ 13.0
2 採算(経常利益)	21.7	65.2	13.0	8.7	21.7	56.5	21.7	0.0	13.0	69.6	17.4	△ 4.3
3 資金繰り	0.0	91.3	8.7	△ 8.7	0.0	82.6	17.4	△ 17.4	0.0	87.0	13.0	△ 13.0
4 従業員(含 臨時・パート)	8.7	73.9	17.4	△ 8.7	13.0	69.6	17.4	△ 4.3	13.0	73.9	13.0	0.0
5 商品(製品)在庫	0.0	93.8	6.3	△ 6.3	6.3	87.5	6.3	0.0	6.3	81.3	12.5	△ 6.3
6 業況(自社)	4.3	82.6	13.0	△ 8.7	8.7	69.6	21.7	△ 13.0	4.3	82.6	13.0	△ 8.7

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

### 2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	25.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	75.0
2 来期	58.6	11.8	11.8	23.5	23.5	11.8	17.6	0.0	41.4

### 3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	26.1	0.0	0.0	9 金利負担の増加	0.0	0.0	13.3
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	6.7	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	16.7	0.0	11 事業資金の借入難	4.3	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	8.7	5.6	13.3	12 従業員の確保難	21.7	11.1	20.0
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	39.1	22.2	13.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	11.1	0.0
6 人件費の増加	0.0	16.7	13.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	6.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	0.0	16.7	13.3	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

### 4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・公共工事の発注が少なくなっていると思う。
- ・昨年の災害復旧に予算がとられていると思う。
- ・物価高騰により売上高は上昇したものの利益の確保が難しい状況だった。

**《 製 造 業 》**

**1、売上・採算・資金繰り等の状況**

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年7月～9月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				前年同期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				今期(令和4年10月～12月期)と比べた 来期(令和5年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	33.3	39.4	27.3	6.1	37.5	21.9	40.6	△ 3.1	25.0	34.4	40.6	△ 15.6
2 採算(経常利益)	21.2	42.4	36.4	△ 15.2	31.3	31.3	37.5	△ 6.3	15.6	46.9	37.5	△ 21.9
3 資金繰り	6.3	75.0	18.8	△ 12.5	9.7	64.5	25.8	△ 16.1	9.7	67.7	22.6	△ 12.9
4 従業員(含臨時・パート)	17.4	69.6	13.0	4.3	22.7	63.6	13.6	9.1	9.1	72.7	18.2	△ 9.1
5 商品(製品)在庫	12.5	71.9	15.6	△ 3.1	9.4	68.8	21.9	△ 12.5	0.0	84.4	15.6	△ 15.6
6 業況(自社)	15.2	54.5	30.3	△ 15.2	28.1	34.4	37.5	△ 9.4	12.5	50.0	37.5	△ 25.0

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

**2、新規設備投資**

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	53.7	4.5	13.6	54.5	4.5	9.1	13.6	0.0	46.3
2 来 期	50.0	0.0	10.0	45.0	10.0	15.0	20.0	0.0	50.0

**3、経営上の問題点**

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	27.3	15.6	3.3	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	3.0	3.1	6.7	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	6.1	12.5	6.7	12 従業員の確保難	9.1	12.5	23.3
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	30.3	25.0	10.0	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	6.3	23.3
6 人件費の増加	9.1	12.5	13.3	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	9.1	12.5	13.3	15 その他	0.0	0.0	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	6.1	0.0	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

**4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)**

- ・コロナの影響は弱まりつつある。資材を発注するたびに5～40%高騰している。電気代も毎月1万円ずつ増えている。
- ・観光客が増えた。県外出荷が増えた。すべての原材料の値上、電気代の値上が生じている。
- ・仕入値の上昇分の販売価格への転嫁が追い付かない。
- ・コロナ、円安の影響により、取引先の投資計画の延長等が起きて今期の売上は前年を下回る。資金繰りについては、仕掛品が多かったため、今期の資金繰りは厳しいながらも何とかやり繰り可能。調達品の納期が引続き長期化、生産体制にも影響が継続的に起きている。
- ・電気代の負担が増加、電力量削減では対応できない。
- ・昨年度は半導体不足におおわれ、いざ在庫でしたら生産増になったがそれに需要が付いていかず在庫の過剰となって減産となる見通しである。
- ・物価高により消費者の購入順位が変わり、食品等に優先順位が回るため、それ以外の財が購入されにくくなっている。

## 《卸 売 業》

### 1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年7月～9月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				前年同期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				今期(令和4年10月～12月期)と比べた 来期(令和5年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	50.0	25.0	25.0	25.0	31.3	18.8	50.0	△ 18.8	43.8	37.5	18.8	25.0
2 採算(経常利益)	25.0	31.3	43.8	△ 18.8	18.8	37.5	43.8	△ 25.0	31.3	31.3	37.5	△ 6.3
3 資金繰り	12.5	81.3	6.3	6.3	6.3	81.3	12.5	△ 6.3	12.5	81.3	6.3	6.3
4 従業員(含 臨時・パート)	0.0	75.0	25.0	△ 25.0	6.3	75.0	18.8	△ 12.5	12.5	81.3	6.3	6.3
5 商品(製品)在庫	25.0	56.3	18.8	6.3	31.3	56.3	12.5	18.8	12.5	81.3	6.3	6.3
6 業況(自社)	18.8	56.3	25.0	△ 6.3	18.8	43.8	37.5	△ 18.8	12.5	62.5	25.0	△ 12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

### 2、新規設備投資

(%)

	実施・計画 した	実施・計画 していない							
		土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今 期	20.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0
2 来 期	31.3	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	68.8

### 3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	43.8	13.3	6.7	9 金利負担の増加	0.0	6.7	6.7
2 新規参入業者の増加	0.0	0.0	6.7	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	0.0	20.0	0.0	11 事業資金の借入難	0.0	0.0	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	13.3	0.0	12 従業員の確保難	6.3	6.7	6.7
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	43.8	6.7	13.3	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	0.0	6.7	13.3
6 人件費の増加	0.0	6.7	6.7	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	6.7	6.7
7 仕入・人件費以外の経費の増加	6.3	13.3	13.3	15 その他	0.0	0.0	6.7
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	13.3				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

### 4、業界内のトピック(調査対象事業所からの意見等)

- ・コロナ第8波の影響がじんわり、ずっしりと続いている。
- ・子供の休みにひも付けされた大人の動きが止まり来店キャンセルがあった。スタッフ確保も大変である。
- ・1～3月は毎年、売上が減になる時期。1月上旬は昨年より売上上昇ぎみのため、今後も昨年は上回れば良い。
- ・10～11月は値上げにより、買い溜めがあり売上が上昇した。
- ・海外からの輸入商品の為、仕入価格が高騰、大きな得意先も価格値上げがあった。
- ・観光では、移動制限が無くなり、秋より元の8割～7割まで回復した。
- ・仕入価格の上昇が売価への転嫁を上回り、常に減収要因となっている。

## 《小 売 業》

### 1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年7月～9月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				前年同期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				今期(令和4年10月～12月期)と比べた 来期(令和5年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	35.7	35.7	28.6	7.1	26.2	35.7	38.1	△ 11.9	19.0	38.1	42.9	△ 23.8
2 採算(経常利益)	23.8	42.9	33.3	△ 9.5	21.4	38.1	40.5	△ 19.0	14.3	42.9	42.9	△ 28.6
3 資金繰り	7.1	76.2	16.7	△ 9.5	7.1	71.4	21.4	△ 14.3	7.3	65.9	26.8	△ 19.5
4 従業員(含 臨時・パート)	2.4	90.2	7.3	△ 4.9	7.3	85.4	7.3	0.0	7.3	87.8	4.9	2.4
5 商品(製品)在庫	26.2	59.5	14.3	11.9	26.2	54.8	19.0	7.1	11.9	59.5	28.6	△ 16.7
6 業況(自社)	19.0	59.5	21.4	△ 2.4	16.7	52.4	31.0	△ 14.3	7.1	57.1	35.7	△ 28.6

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

### 2、新規設備投資

(%)

	実施・計画した								実施・計画していない
	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他		
1 今 期	42.6	0.0	15.0	15.0	20.0	20.0	30.0	0.0	57.4
2 来 期	33.3	0.0	6.7	20.0	40.0	6.7	26.7	0.0	66.7

### 3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	35.9	10.8	15.2	9 金利負担の増加	0.0	0.0	0.0
2 新規参入業者の増加	2.6	0.0	6.1	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	5.1	8.1	6.1	11 事業資金の借入難	0.0	2.7	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	2.6	8.1	6.1	12 従業員の確保難	15.4	0.0	12.1
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	25.6	16.2	15.2	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.6	13.5	21.2
6 人件費の増加	0.0	10.8	3.0	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	2.6	10.8	9.1
7 仕入・人件費以外の経費の増加	2.6	13.5	6.1	15 その他	5.1	2.7	0.0
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	2.7	0.0				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

#### 4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・物価高やエネルギー高騰により利益が圧縮しているが、何とか価格を上げたりして対応出来ている。
- ・神在月はここ数年で1番の人出だった。その後も暖冬の影響で観光客の減少が抑えられたので、今期はまずまずだった。
- ・11月、12月は出雲市のプレミアム券があった為、特に12月において売り上げupした。
- ・来年度コロナ施策が少なくなっていく中で、なおかつ物価がジワジワと上昇していく中で売り上げを確保していく難しさを感じる。
- ・コロナで外販と展示会などが出来ない、出来にくい。
- ・レンタカー事業は売上前年比1.5倍で好調である。
- ・前年同期と比べると、売上額は増加しているが、その分仕入額が上がっているので実際はあまり伸びていない。
- ・出雲市の商品券のおかげで客数は伸びた。
- ・物価高騰で食料品など、値上げが個人消費を直撃するなか、発泡酒含めたビール類の値上げは今後の販売にも影響が大きい。
- ・コロナウイルスの影響で来客数が減った。出かけないのが普通になってしまった。（特に70歳以上の人）

《サービス業》

1、売上・採算・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況								II 来期の見通し			
	前期(令和4年7月～9月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				前年同期(令和3年10月～12月期)と比べた 今期(令和4年10月～12月期)の状況				今期(令和4年10月～12月期)と比べた 来期(令和5年1月～3月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上(完成工事・出荷)額	60.0	26.7	13.3	46.7	40.0	35.6	24.4	15.6	20.5	34.1	45.5	△ 25.0
2 採算(経常利益)	51.1	35.6	13.3	37.8	36.4	40.9	22.7	13.6	15.9	40.9	43.2	△ 27.3
3 資金繰り	27.9	65.1	7.0	20.9	20.9	69.8	9.3	11.6	4.8	64.3	31.0	△ 26.2
4 従業員(含臨時・パート)	4.7	72.1	23.3	△ 18.6	11.6	67.4	20.9	△ 9.3	7.1	78.6	14.3	△ 7.1
5 商品(製品)在庫	6.1	84.8	9.1	△ 3.0	6.1	90.9	3.0	3.0	6.3	81.3	12.5	△ 6.3
6 業況(自社)	37.2	46.5	16.3	20.9	38.1	45.2	16.7	21.4	16.3	48.8	34.9	△ 18.6

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

2、新規設備投資

(%)

	実施・計画								実施・計画 していない
	した	土地	建物	機械・備品	車両運搬具	付帯施設	OA機器	その他	
1 今期	31.3	0.0	13.3	33.3	20.0	13.3	20.0	0.0	68.8
2 来期	28.3	7.7	23.1	7.7	30.8	7.7	15.4	7.7	71.7

3、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	経営上の問題点	1位	2位	3位
1 需要の停滞、受注減少	35.7	5.1	3.1	9 金利負担の増加	0.0	0.0	9.4
2 新規参入業者の増加	2.4	0.0	6.3	10 代金回収の悪化	0.0	0.0	0.0
3 単価の低下・上昇難	7.1	17.9	6.3	11 事業資金の借入難	0.0	2.6	0.0
4 材料(原材料)等の入手難	0.0	5.1	0.0	12 従業員の確保難	19.0	7.7	9.4
5 材料(原材料)等仕入価格の上昇	19.0	25.6	15.6	13 店舗・機械・備品等設備の老朽化	2.4	12.8	18.8
6 人件費の増加	4.8	10.3	15.6	14 大企業(大型店)進出による競争の激化	0.0	2.6	0.0
7 仕入・人件費以外の経費の増加	9.5	10.3	6.3	15 その他	0.0	0.0	6.3
8 商品(製品)在庫の過剰	0.0	0.0	3.1				

注) 各項目の数値は四捨五入しているため、計の数字が合わない場合があります。

#### 4、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・全国旅行支援のおかげでお客様は増加しましたが人が不足している。
- ・コロナになれてきて、自己防衛につとめ、日常が戻りつつありそうですが、ここにきてまたコロナ増でお客様の足もまたSTOPしている。
- ・物価値上げによる仕入高が生じている。
- ・全国旅行支援で宿泊顧客は増。宴会顧客はコロナ前の65%。感染拡大にも以前のような多くのキャンセルはない。
- ・全国旅行支援の実施による需要増が収益向上に貢献したがコロナ第8波による1～3月期の需要は萎むと考える。
- ・コロナ数が増すたびに1人毎の来店間隔伸びる
- ・出雲市 二十歳の集い（旧名 成人式）が行われ業界はうるおったと思う。